

四倉地区市街地再生整備基本計画策定に係る令和5年度第1回合同会議 (四倉地区まちづくり検討会／ワーキンググループ 4 KuLabo①②③) 要旨

■ 日 時

令和5年6月1日(木) 18:30~20:00

■ 場 所

四倉町商工会館 大会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶(都市計画課長)
- 3 議事
 - (1) 検討の再開について
 - (2) 検討の進め方について
- 4 懇談
 - (1) 四倉地区の未来の姿について
- 5 閉会



■ 意見交換の概要(要旨) ○: 関係団体委員 ⇒: 事務局・行政委員

(検討の再開について)

- 資料中の将来コスト203億円や維持管理費用の約70億円は、現在の施設を利用した場合の額になるのでしょうか？
- ⇒ 現状の施設をそのまま維持・更新した場合の費用になります。

(検討の進め方について)

- 資料P15今後の進め方について、業務委託の発注は終わっているとの話ですが、今後、ワーキンググループで基本計画の素案を検討し、令和5年12月に作成していくものと思いますが、これとは関係なく業務委託において、我々の意見を組み込まずにたたき台を作成してしまうのでしょうか？
その辺りどういった内容の委託なのでしょうか？
- ⇒ 本業務委託は、学校施設の規模算定やレイアウトなど、今後皆様と話し合っていく際のたたき台となる図面などを作成するものとなっています。勝手にコンサルタントが進めていくものではなく、地域の皆様とキャッチボールしながら意見があったものの反映して協議していきます。
- 検討会などを行う前に、業務委託において答えを出してしまっは、何のための検討会なのか分からないのではないのでしょうか？
- ⇒ 答えを出すような業務委託ではなくて、規模算定などを専門のコンサルタントにお願いするものです。

○ 業務委託を発注しているということは、計画を立てているということではないのですか？

⇒ 計画については立てておりません。

○ 何のための業務委託なのでしょう？

⇒ 基準の確認や規模算定をはじめ、皆様からの意見を絵柄に反映していくためのお手伝いをいただくものです。

○ これから地域の方で何かしていこうと検討している中で、行政で決められては、何も出来ないということなのではないでしょうか？

⇒ 役所で決めていくところと、皆様とお話をしながら決めていくところがあり、例えば国の基準などでフロアがどのぐらいになるのかなど、専門の方を入れないとどうしても検討が出来ないところもあります。当然、皆様の声を具現化してイメージしていくところについては、皆様のご意見を踏まえて進めていくものです。

○ 地域の方の意見はまだ何も聞いていないのですか？

⇒ ワーキンググループなどを通じて、これから皆様の意見を聞いていきます。

○ 今の意見はごもっともだと思います。結果的にこうなるとしても、一回段階を踏んで、今後の進め方について、皆の同意を得てから進めた方が良いと思う。

⇒ ご意見ありがとうございます。

○ 業務委託において大まかな青図を作ってもらい、私たちの意見を踏まえ反映できる場所は反映しながら進めていけるといことでよろしいでしょうか？

⇒ その通りです。

○ 工場跡地に公共施設を集約していくことは決定していることなのではないでしょうか？

また、公共施設を集約に伴って学校を工場跡地に再編することは決定していることなのではないでしょうか？

⇒ 令和2年度から、地域団体の方々を委員としたまちづくり検討会にて意見交換を行い、基本方針をまとめてきました。基本方針の中では、津波浸水想定区域や著しい老朽化、人口減少などを踏まえて、基本方針1として工場跡地の方へ教育・文化・福祉機能を有する交流・防災拠点の形成を図ることとしています。

令和3年度からは、基本計画の検討を進める中で、具体的な公共施設として四倉小学校や中学校、公民館などを検討対象施設とし、工場跡地の土地利用計画を検討していこうと進んでいます。

○ 令和2年度に市の方で実施したアンケート調査では、色々な施設が欲しいとの意見があり、我々も検討していましたが、今回の話を聞くと内容がガラッと変わってしまった印象を受けます。

⇒ アンケートでは、四倉地区に必要なものとして、工場跡地へ公共施設と一緒に立地を望む民間収益施設や四倉駅周辺をどのくらいの頻度で訪れるかなどを調査しており、これらの結果等を踏まえ、令和3年5月に基本方針を策定し、具体的な土地利用を検討していきましようという流れになっています。また、基本方針策定以降から何

も変えてはいません。

- 中身が変わっているとは思いますが、公共施設を作るということで全体が進んできたと理解しており、そのことをちゃんと了承したうえで次に進まないといけなのではないかと思います。その辺をしっかりと立ち止まり確認し、次のステップに行かないと今回のような誤解を招いてしまうのではないのでしょうか。

(懇談)

懇談① (PTA 関係者様より)

- 大浦地区の子供を持っている家庭では、小中学校の9年間、安心して子供を教育に行かせることを望んでいます。
- 小学校中学校の子供たちが主役となって四倉地区が発展していくことを願っています。
- 県の復興公営住宅に住む小学生は、大部分が大浦小学校に通っています。
- 大浦のことも一緒に考えていただきたいです。
- 大浦小学校に通わせる保護者のうち、送り迎えを考えると4割の方は四倉小よりも草野小の方が近いと感じている方もいます。そのため、安心して9年間通わせることができる学校が必要であると考えています。

懇談② (医療関係者様より)

- 医療や介護が安心して受けられる街づくりが必要と考えています。
- 今後の人口減少は非常に厳しいものと感じています。今年から小中学校にて“命の授業”ということで、ガンや認知症に関すること、在宅医療に係る色々な職業・仕事に関することなどを説明する場を設けています。
- 施設維持に費用はかかるが、まちの在り方からすると大浦小には残って欲しいと思っています。
- 上仁井田に立地する楽寿荘は、海沿いで非常にいい立地ですが、周辺は保安林であり、建て替えの候補地がない状況です。また、建て替えを進める場合には、事業を継続しながらの建て替えとなるため、四倉高校の敷地が民間で使えるようになるのであればと思っています。ここが地域で拠点になるような福祉避難所になればとも考えています。
- 安い家賃で住める住居を併設して、医療や介護を近くで支えていければとも考えています。
- この地域でまちづくりの担い手となる若い世代をどれだけ増やせるかが重要となるのではないのでしょうか。

懇談③ (まちづくり団体関係者様より)

- 市民会議では、昨年度からSDG sの観点で素材を活かして四倉町を再生させようと、様々なプロジェクトに取り組んでいます。
- 今年度は、里山・まちなか・海の3つの観点で各種取り組みを行い、生まれ変わろうとしています。まちなかでは空き店舗や空き家のリノベを促進していこうと考えて

いる。また、海では四倉漁港を活用した海釣り公園でのイベントを 10/22(日)に実施予定であり、アクアマリンふくしまと連携した移動水族館を設置する予定です。

(その他)

○ 市にも話していますが、民間企業が 16 社集まった組織で工場跡地を活用したまちづくりを計画しています。役所だけの見解で進めて、民間企業の声は聞いてくれないのでしょうか？

⇒ 市の方でも内容は確認しています。今後、基本方針を具現化する際に、老朽化した公共施設を複合的に見せるような民間側との土地利用などについて、民間企業側と対話をしながら検討していく予定です。

○ いつ着工されるのか、どうなっているのか、姿が見えません。住民はこの計画に期待しています。

⇒ 今年度から皆様との話し合いを再開させていただき、事業スケジュールも含め目に見える形でお示しをできるようにしていきたいと考えています。